平成三十年度

国語採点基準

問題		正答	配点 小問	配点 大問
一	1	(例)季節の変化や地域の行事を紹介する　**こと**	2点	10点
	2	(例)毎週放送する材料を集める　**こと**	3点	
	3	(例)**行事と俳句を作る時期が**　近いと、実感のこもった俳句ができる　**から**	3点	
	4	**ウ**	2点	
二	1	**自分たちの**　足跡　**によってできた道**	2点	25点
	2	**ア**	3点	
	3	(1) 僕の前に道はない	3点	
		(2) b (例)迷わずに実行すればよい	3点	
		(2) d (例)勇気がわいてきた(力がわいてきた)	3点	
		(3) **エ**	3点	
		(4) 進むべき道筋	3点	
		(5) (例)**これまでの**　人の後ろをついていくだけの消極的な姿勢から、進むべき道を自分で切り開いていこうとする積極的な姿勢　**へと変わった。**	5点	
三	1	商品の全体	3点	21点
	2	(例)**分かりやすくしようと情報を**　載せるほど、周りと同化し目立たなくなる　**状態**	4点	
	3	**イ**	3点	
	4	(例)知りたいと思わせる未知のこと	4点	
	5	(1) a 経済効率優先	2点	
		(1) b 一生活者	2点	
		(2) (例)身体感覚を意識	3点	
四	1	① はぶ　**き**	2点×2	14点
		② 暮　**れ**		
		③ ひんぱん		
		④ 辞典		
	2	(例)来られる(おいでになる)	2点	
	3	**エ**	2点	
	4	**イ**	2点	
五	1	① あわれ	2点×2	18点
		② いとおし		
	2	(例)**東国の**　軍　**勢(東国の**　手　**勢)**	2点	
	3	(1) a (例)運命(宿命、定め)	3点	
		(1) c (例)優雅な心	3点	
		(2) b いくさの陣	3点	
		(2) d 発心の思ひ	3点	
六	構成	・グラフから気付いたことを踏まえて、自分の考えを分かりやすく述べている。 ・構成を工夫している。	5点	12点
	表現 叙述	・内容の述べ方や表現方法を工夫している。 ・言葉の使い方が適切である。	4点	
	表記等	・漢字、区切り符号などの使い方や、仮名遣いが適切である。	3点	
合計				一〇〇点